

## イベントレポート：シニア野菜ソムリエ（立花 尚子さん）

平成29年8月4日（金）、『PARTAGE』にて、ふくしま応援シェフによる、福島県産食材を使用したイベントが開催されました。今回イベントを開催していただいたふくしま応援シェフはシニア野菜ソムリエの立花尚子さんです。

▼応援シェフ：シニア野菜ソムリエ 立花尚子さん  
開催店舗：PARTAGE  
〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町5-7  
KAINO梅田本店ビル1F  
TEL：06-6372-1219

今回のイベントでは、県産食材の安全性と魅力を消費者に伝えるため、ふくしま応援シェフに福島県産食材を使用したお食事を提供いただきました。

### 使用した福島県産食材

- ▶ 桃
- ▶ トマト
- ▶ メイプルサーモン
- ▶ きゅうり
- ▶ 米
- ▶ ミニトマト
- ▶ 日本酒



桃とモッツアレラチーズのカプレーゼ



桃と生ハムとクリームチーズ



桃とホタテのインサラータ



桃とメイプルサーモンのセビーチェ



桃とトマトのガスパチヨ



齋藤さんの露地きゅうりのピリ辛マリネ





夏野菜のグラタン



桃とサンシャイトマトの冷製パスタ



フリットミスト



豚肩ロースのハーブロースト ~桃のソース~



魚介たっぷりのちらし寿司



フラガールのサラダ



桃を使ったデザートビュッフェ





## 【イベントの様子】



### 【生産者から食材紹介と福島県の現状について】

#### ■株式会社二本松農園 齋藤登様

お米やきゅうりなどを生産しています。きゅうりはハウスで栽培する場合と路地で栽培する場合があります、今の時期は路地で栽培しております。8月の今の時期は路地きゅうりが一番成長する時期になっています。きゅうり畑は70%ありまして、一日2回朝夕に収穫しています。今日は朝から2時間半で5,000本収穫してきて、通常ですと夕方3,000本ほど収穫します。収穫したきゅうりは自社ネットショップや農協に出していますが、農協から全国にトラックで運ばれており、普段から皆さんが食べているきゅうりも私の作ったきゅうりかもしれません。

皆さんが気になっている放射性物質のお話をさせていただきますと、うちの農園は原発からちょうど50km離れていて、震災時まさか50km離れている農園に放射性物質が飛んでくるとは思ってもみなかったですが、風下に近い位置関係になっており、農園は放射性物質の数値が2000ベクレルと高い数値になってしまいました。しかし、そこからとれているお米やきゅうりからは震災後から一切放射性物質の基準値を上回ることはありません。それはなぜかという、植物が成長するためには、ちっ素、リン酸、カリウムの成分を吸収して成長していきます。その成分のうち、カリウムが少ないと、それに似た成分である放射性セシウムを吸収してしまい、基準値を超える数値が出てしまいます。そのためカリウムを沢山入れることで、セシウムの吸収を抑えることができるため、基準値を超えないお米やきゅうりを収穫することができるのです。ただ、福島県の全ての食材が安全かというもちろんそうではありません。天然の山菜や筍などは基準値を大きく超える数値が出ています。ですが、そういった食材は全て出荷停止になっているため、皆さんの口に入ることはありません。市場に出回っている食材については、全て基準値を超えていない食材です。しかし福島の食材は安全ですと、数値で示したとしても、震災前のように売れるわけではありません。それが風評被害の一番大変なところです。放射性物質の基準値を下回っていたとしても、一度ついてしまったイメージを払拭するのは大変です。スーパーや流通業者の方はイメージの悪さから売れ残る可能性の高い福島の食材を仕入れるのは難しいということです。消費者は応援したいから買いたいと思っている方もいらっしゃると思いますが、スーパーに売ってないから買いたくても買えない状況もあります。では福島の食材はどこにいつているかというと、大部分はレストランやコンビニなどの業務用で使用されています。震災後6年が経過しておりますが、まだまだ風評払拭にはほど遠い状況です。それを地道に、直接福島の声届けながら一人でも多くの方に知ってもらえるように、県内52人の生産者でNPO法人を立ち上げてこのような講演活動も行っております。顔の見える関係には風評払拭はなしという合言葉をもとに皆さんつながっていきたいと思います。



### 【シニア野菜ソムリエの立花尚子様のご挨拶】

今回のイベントの発起人の立花尚子です。今回でこのイベントは3回目になります。イベントを継続できているのは、応援してくれる、来ていただいている皆様がいるからだ、皆さまには本当に感謝しております。これからも皆で協力しながら長く応援し続けられたらと思っています。私がふくしまを応援するイベントを開催するきっかけとなったのが、震災の半年前に滋賀県に引っ越してきましたが、それまでは東日本に住んでおりました。震災後に被災地の応援をしたいと思っていましたが、東北に縁があったわけではなかったので、どうやって応援したらいいのかと考えていた時に、たまたま滋賀県の行政で福島県を応援するという役割があることを知りました。そんなきっかけがあり、私も福島を応援しようと思いました。いざ応援しようと思った時に、自然災害よりも、その後の風評被害の問題が大きいことを知り、風評払拭をするための活動をしたと考えました。しかしそれはなかなか簡単なことではなく、どのように活動していけばいいかと考えていた時に、私は元々エンターテインメントの世界にいたこともあり、映画の上映を通して福島の現状を伝えながら、野菜ソムリエとして食材の魅力も伝えていけるイベントを開催しようと思いました。映画監督や今回イベントと一緒に開催しました他の野菜ソムリエ達など様々な縁があって、このようなイベントを継続して開催できていることに感謝しています。来年は会津の食材にピックアップしたイベントをやろうかと思っています。来年もまた是非参加いただき、皆様一緒に福島を応援していきましょう。



お食事をしながら、スタッフや生産者と交流をする参加者の皆さん

## ▶ 【参加者のアンケート】

イベント終了後、参加していただいた皆さんにアンケートを実施いたしました。

- ・桃をおいしくいただけてよかったです。地酒もおいしかったです。
- ・現地の声をこれからも届ける企画をお願いします。
- ・これからも息長く応援し続けたいと思いました。年ごとに違う角度からお話を伺いたいです。
- ・色々な方が集まり、ほんのひとときでも福島を応援する気持ちや考えたりする気持ちが芽生えたらうれしいです。
- ・お料理とてもおいしかったです。

など、県産食材の魅力が伝わり、企画に対する満足度の高いイベントとなりました。